

作成年月日	平成26年4月7日
作成部局	企画県民部災害対策局災害対策課

「避難所等におけるトイレ対策の手引き」の策定

目的

災害時の適切なトイレ環境の確保は、被災者の健康維持を図るうえで重要な課題である。このため、市町や避難所管理者等が迅速、的確にトイレ対策を講じることができるよう「避難所等におけるトイレ対策検討会」を設置し、災害用トイレの確保から衛生管理に至る一連の対策をとりまとめた。

検討会の設置

「避難所等におけるトイレ対策検討会」を昨年7月から3回にわたり開催し、本手引きをとりまとめた。

検討会委員（ ）：座長）

氏名	所属・役職	専門分野等
木村 玲欧	兵庫県立大学環境人間学部准教授	学識者（防災教育、社会調査）
黒田 裕子	NPO法人 阪神高齢者・障害者支援ネットワーク理事長	NPO（高齢者・障害者・女性対策）
加藤 篤	NPO法人 日本トイレ研究所代表理事	NPO（災害用トイレ・衛生対策）
芝本 忠夫	兵庫県環境整備事業協同組合理事長	し尿処理等環境対策実務
川本 稔	姫路市環境局美化業務課長	市町行政（し尿処理等）

本手引きの特徴

- ・災害時のトイレ対策等に特化した手引き
- ・トイレ対策に従事する市町職員等を念頭に置いた実践的かつきめ細やかな記述
- ・写真や図表を用いて分かりやすく記載
- ・避難所等の現場で役立つ実用的なチェックシートの提示
- ・専門家の実体験に基づくコラムの掲載（上記の各委員が執筆）

本手引きの活用方法

県内各市町、関係機関等に配付し、周知を図る。

- ・市町の避難所運営マニュアル等への反映の働きかけ
- ・地域の防災訓練等におけるトイレの設置運営訓練の実践
- ・県・市町防災力強化連携事業等の機会をとらえた普及啓発

概要

1 災害時のトイレを巡る現状と課題

これまでの災害時におけるトイレを巡る課題について整理

（例）断水で既設トイレが使えない、利用しにくい構造の災害用トイレが多い 等

2 災害時の既設トイレの活用

平常時からの水確保のための取り組み（井戸の整備等）

水が出る場合：マンホールや汚水マスからの漏れに注意して使用

水が出ない場合：携帯トイレ等を利用して使用（使用例を図示）

3 災害用トイレの種類

(1)災害用トイレの種類と概要・使用上の留意点

〔携帯トイレ、簡易トイレ、組立トイレ、仮設トイレ〕

(2)マンホールトイレ

(3)その他のトイレ等（自己処理型トイレ、車載トイレ等）

(4)災害用トイレの選択

- ・ 設置場所、ライフラインの状況、し尿処理体制、使用する者の事情等の諸条件を考慮して選択（各種トイレの機能の比較表、選び方フロー図等の記載）
- ・ 個人による携帯トイレ備蓄の推奨

4 災害用トイレの調達・設置

(1)災害用トイレ調達の留意点

協定事業者、県等への応援要請により必要なトイレ等を調達

し尿収集機材の配備状況、仮設トイレ巡回チェックリストを掲載

(2)災害用トイレ設置の留意点

利便性や安全性に配慮した場所の確保、トイレ用水の確保、消毒等の衛生面の対策、照明の確保等をチェックリストとして掲載

(3)避難所等の人数に応じた必要トイレ数の目安

過去の災害での事例（概ね75人に1基）を参考に、使用する者の事情や現場の状況を踏まえて必要数を確保

(4)調達やし尿処理に関する民間事業者との連携

災害用トイレの調達やし尿処理の円滑な実施のため、事前に事業者等と協定を締結

5 健康被害の防止と衛生対策

(1)トイレの使用にかかる課題と留意点

(2)衛生面に配慮した避難所等でのトイレの清掃方法

清掃時の装備品、清掃用水等15項目33事項にわたるチェックリストを掲載

(3)清掃実施体制

避難者自らが清掃にあたる体制を早期に整えることに加え、状況に応じてボランティアとの連携や、清掃専門業者の活用を検討

(4)衛生面に配慮した避難所等でのトイレ掃除のための準備品例

6 災害時要援護者への配慮

(1)障害者・高齢者への配慮

洋式トイレを確保し、使用者の事情に応じて、手すり、照明、スロープ等を整備

(2)女性への配慮

(3)幼児等への配慮

(4)外国人への配慮

7 マニュアルの作成や設置運営訓練等の実施

(1)マニュアルの作成

(2)災害用トイレの設置運営訓練の実施

(3)体験型防災学習・教育等による普及啓発

8 災害時のトイレ対策の留意点

- ・ 災害時のトイレ対策の手順に沿って、トイレ対策チェックシート ～ を掲載
- ・ トイレ使用ルールの作成例を掲載